

平成 26 年度国産畜産物安心確保等支援事業
(快適性に配慮した家畜の飼養管理推進事業)

豚の飼養実態アンケート調査報告書

平成 27 年 3 月

公益社団法人 畜産技術協会

目 次

I. 調査の目的	1
II. 調査の方法	1
III. 調査の結果	2
■ 基本事項	2
■ 飼養管理について	3
1. 観察・記録について	3
2. 給餌・給水について	4
3. 飼養環境について	7
4. 飼養施設について	9
5. 疾病・外傷等への対応	15
6. 外科的処置について	17
7. その他	21
アンケート調査用紙	25

I. 調査の目的

近年、アニマルウェルフェアは世界的に注目され、国際機関である OIE（国際獣疫事務局）において、肉用牛及び肉用鶏のアニマルウェルフェア基準が採択され、他の畜種についても順次、検討が進められる予定である。また、ISO（国際標準化機構）では技術仕様書の検討が行われるなど、国際基準の作成に向けて様々な取り組みが進められている。

我が国では、平成 22 年度に「アニマルウェルフェアの考え方に対応した家畜の飼養管理指針」を取りまとめ、畜産関係者等に対して普及啓発を行ってきたが、国際機関等での検討や消費者等の関心が高まっていることから、今後、更に的確な対応が求められると考えられる。

そこで、今後のアニマルウェルフェアへの的確な対応に向けた検討を行う際の基礎資料として活用するため、本アンケート調査を実施した。

II. 調査の方法

本調査は、一般社団法人日本養豚協会に委託して実施した。

調査に当たっては、平成 26 年 9 月に、一般社団法人日本養豚協会から、全国の豚飼養農家(1,000 件)にアンケート調査票を送付した。なお、アンケート回答数及び回答率は、以下のとおりである。

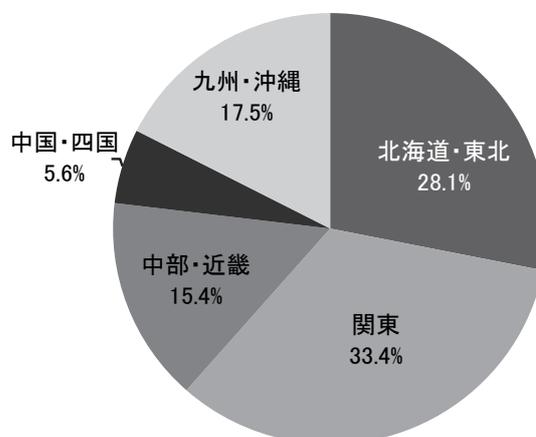
送付数	回答数	回答率
1,000 件	428 件	42.8%

Ⅲ. 調査の結果

■ 基本事項

1. 農場の所在地

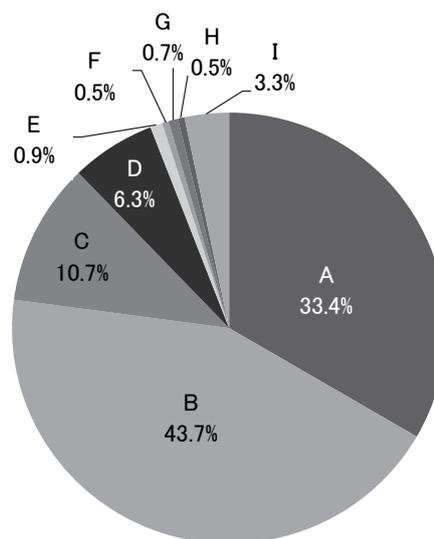
	件数	割合
A 北海道・東北	120	28.1%
B 関東	143	33.4%
C 中部・近畿	66	15.4%
D 中国・四国	24	5.6%
E 九州・沖縄	75	17.5%
合計	428	100.0%



全国での回答数は428件で、地域別では「関東」が143件(33.4%)を占め、次いで「北海道・東北」が120件(28.1%)、「九州・沖縄」が75件(17.5%)、「中部・近畿」が66件(15.4%)、「中国・四国」が24件(5.6%)であった。

2. 子取り用雌豚の飼養頭数は、現在何頭ですか

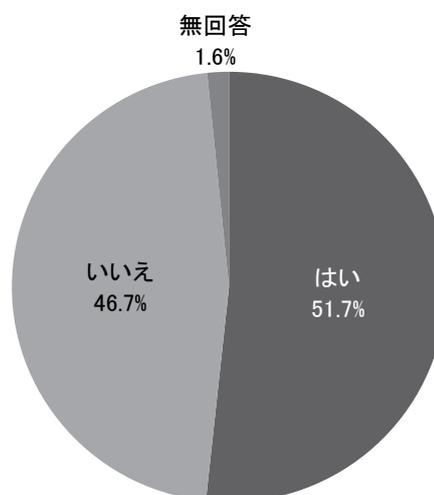
飼養頭数	件数	割合
A 0 ～ 100頭	143	33.4%
B 101 ～ 500頭	187	43.7%
C 501 ～ 1,000頭	46	10.7%
D 1,001 ～ 2,000頭	27	6.3%
E 2,001 ～ 3,000頭	4	0.9%
F 3,001 ～ 4,000頭	2	0.5%
G 4,001 ～ 5,000頭	3	0.7%
H 5,001頭～	2	0.5%
I 無回答	14	3.3%
合計	428	100.0%



豚の飼養頭数規模の分布では、「101～500頭」の農場が最も多く187件(43.7%)、次いで「0～100頭」が143件(33.4%)であった。一方、「2,000頭を超える」大規模経営が11件あった。

3. 平成21年3月に作成された「アニマルウェルフェアの考え方に対応した豚の飼養管理指針」を知っていますか

	件数	割合
A はい	221	51.7%
B いいえ	200	46.7%
C 無回答	7	1.6%
合計	428	100.0%



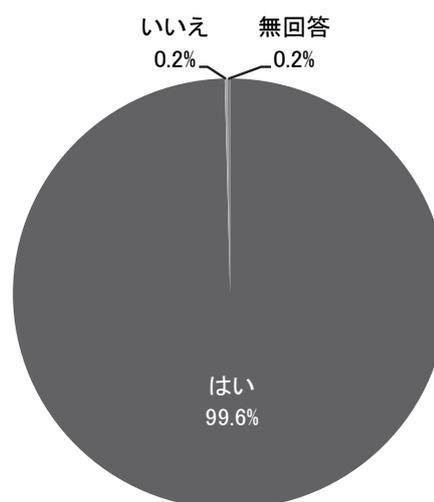
アンケートへの回答のうち、「はい」と答えた農場は221件（51.7%）、「いいえ」と答えた農場は200件（46.7%）で、「アニマルウェルフェアの考え方に対応した豚の飼養管理指針」を知っている農場は約半数であった。

■ 飼養管理について

1. 観察・記録について

問1. 1日1回以上、豚の健康状態を観察していますか

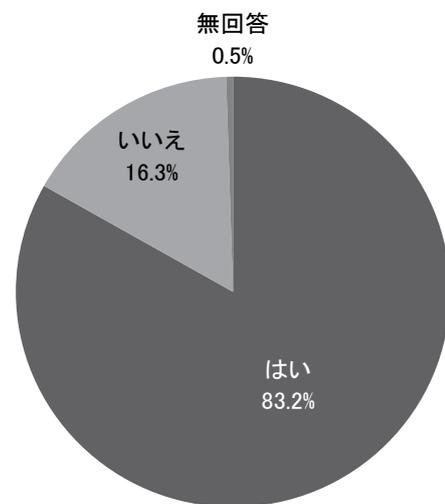
	件数	割合
A はい	426	99.6%
B いいえ	1	0.2%
C 無回答	1	0.2%
合計	428	100.0%



豚の健康状態については、「1日1回以上観察している」と答えた農場が426件（99.6%）にのぼり、「観察していない」と答えた農場はわずか1件であった。

問2. 飼養管理（健康状態、病気や事故の発生の有無、治療やワクチン接種の履歴、死亡頭数等）に関する記録を毎日つけていますか

	件数	割合
A はい	356	83.2%
B いいえ	70	16.3%
C 無回答	2	0.5%
合計	428	100.0%

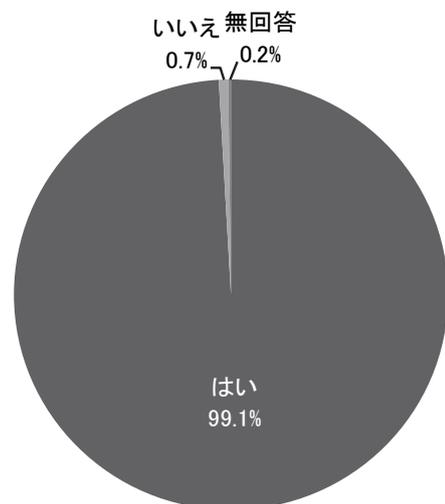


日々の飼養管理の記録については、「つけている」と答えた農場は 356 件（83.2%）で、「つけていない」と答えた農場が 70 件（16.3%）であった。

2. 給餌・給水について

問3. 豚の発育段階等に応じた飼料を給与していますか

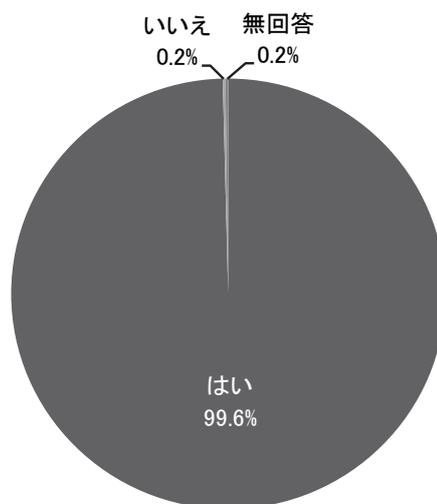
	件数	割合
A はい	424	99.1%
B いいえ	3	0.7%
C 無回答	1	0.2%
合計	428	100.0%



飼料給与については、「発育段階等に応じた飼料を給与している」と答えた農場は 424 件（99.1%）でほとんどの農場で発育段階等に応じた飼料を給与していた。若干数ではあるが、「いいえ」と答えた農家が 3 件（0.7%）であった。

問4. 毎日、新鮮な飼料と水を十分に給与していますか

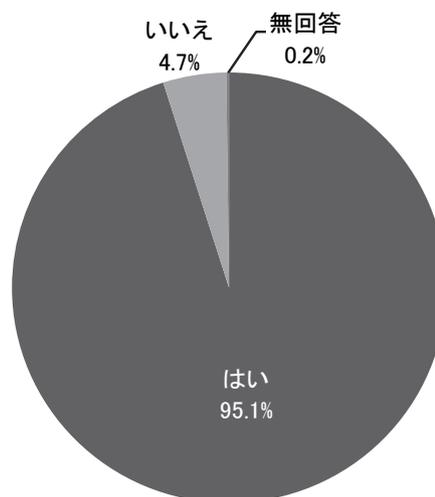
	件数	割合
A はい	426	99.6%
B いいえ	1	0.2%
C 無回答	1	0.2%
合計	428	100.0%



飼料と水の給与については、「毎日、新鮮な飼料と水を十分に給与している」と答えた農場が426件（99.6%）にのぼり、「いいえ」と答えた農場はわずか1件であった。

問5. 毎日、新鮮な飼料や水を給与するため、餌タンクや給水ライン、飼槽・飲水器等の点検・確認を行っていますか

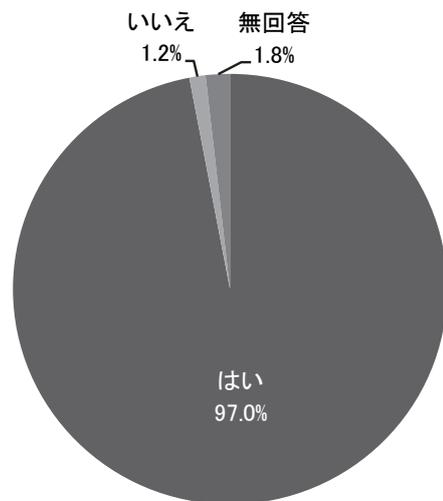
	件数	割合
A はい	407	95.1%
B いいえ	20	4.7%
C 無回答	1	0.2%
合計	428	100.0%



餌タンクや給水ライン、飼槽・飲水器等の点検・確認については、「毎日、点検・確認を行っている」と答えた農場が407件（95.1%）でほとんどの農場で点検・確認が行われていた。「行っていない」と答えた農場は20件（4.7%）であった。

問6. 飼槽や飲水器が、残渣や糞等で汚れた場合、清掃を行っていますか

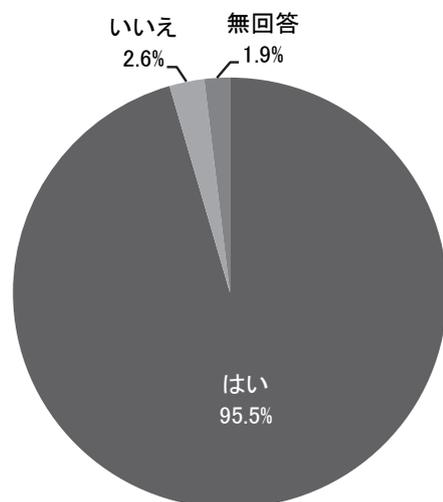
	件数	割合
A はい	415	97.0%
B いいえ	5	1.2%
C 無回答	8	1.8%
合計	428	100.0%



飼槽や飲水器が汚れた場合の清掃について、「清掃を行っている」と答えた農場が 415 件 (97.0%) でほとんどの農場が行っていると回答した。「行っていない」又は「無回答」が 13 件 (3.0%) であった。

問7. 豚が不自由なく飼料を食べたり、水を飲んだりできていますか

	件数	割合
A はい	409	95.6%
B いいえ	11	2.6%
C 無回答	8	1.9%
合計	428	100.0%

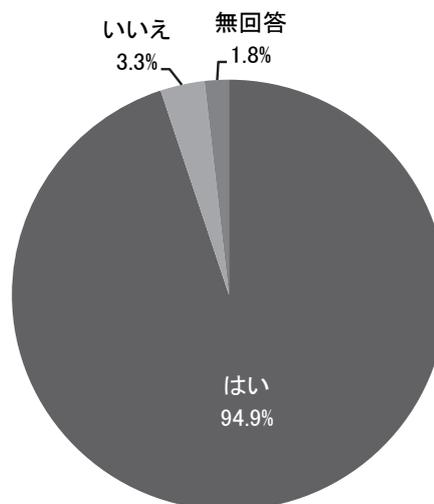


不自由なく飼料や水を摂取できているかについては、「不自由なく摂取できている」と答えた農場が 409 件 (95.6%) で、「いいえ」と答えた農場が 11 件 (2.6%) であった。

3. 飼養環境について

問8. 暑熱対策を行っていますか

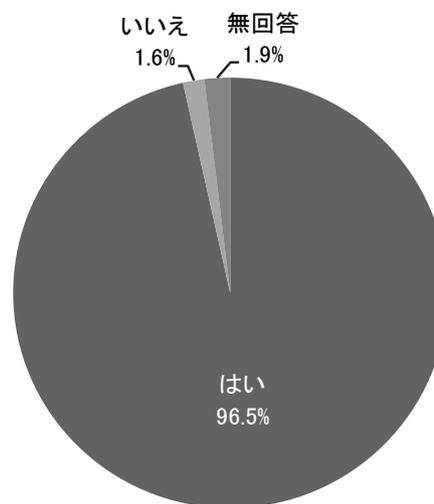
	件数	割合
A はい	406	94.9%
B いいえ	14	3.3%
C 無回答	8	1.8%
合計	428	100.0%



暑熱対策については、「対策を行っている」と答えた農場が 406 件（94.9%）と 9 割強を占めた。「行っていない」又は「無回答」が 22 件（5.1%）であった。

問9. 寒冷対策を行っていますか

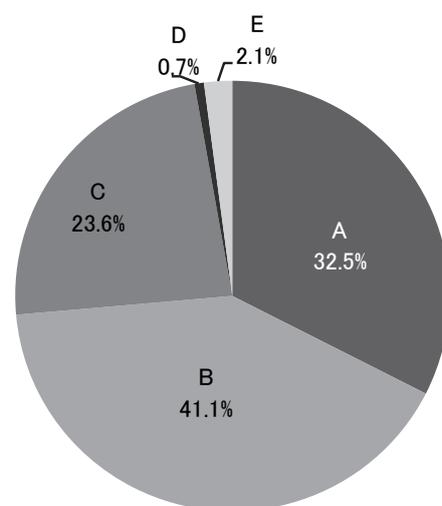
	件数	割合
A はい	413	96.5%
B いいえ	7	1.6%
C 無回答	8	1.9%
合計	428	100.0%



寒冷対策については、「対策を行っている」と答えた農場が 413 件（96.5%）と 9 割強を占めた。「行っていない」又は「無回答」が 15 件（3.5%）であった。

問 10. 豚舎内の空調設備や照明設備等の点検・整備は行っていますか

	件数	割合
A 定期的に点検・整備している	139	32.5%
B 使う必要がある際に点検・整備している	176	41.1%
C 点検は行っていないが壊れたら整備している	101	23.6%
D 点検・整備はせず、壊れたままになっている	3	0.7%
E 無回答	9	2.1%
合計	428	100.0%

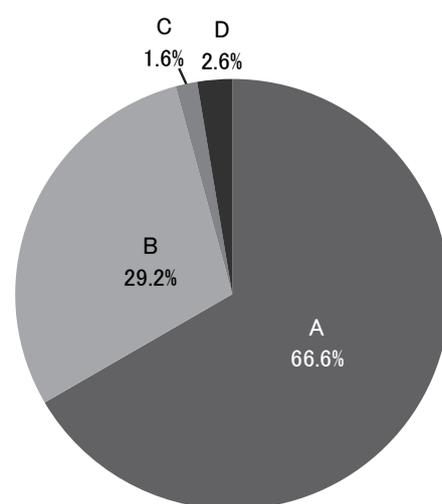


豚舎内の空調設備や照明設備等の点検・整備については、「定期的に点検・整備を行っている」と答えた農場が 139 件（32.5%）で、「使う必要がある際に行っている」又は「壊れたら整備する」と答えた農場が 277 件（64.7%）と 6 割強を占めた。

なお、点検・整備をしていない農場はわずか 3 件であった。

問 11. 豚舎内の明るさは確保できていますか

	件数	割合
A 照明の設置や窓の開閉などにより確保できている	285	66.6%
B 多少暗いものの、豚の活動や管理者が作業を行う分には問題がない	125	29.2%
C 暗いが、そのままにしている	7	1.6%
D 無回答	11	2.6%
合計	428	100.0%

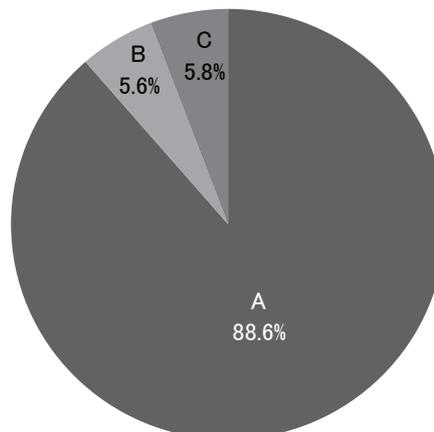


豚舎内の明るさについては、「十分な明るさが確保できている」と答えた農場が 285 件（66.6%）と 7 割弱あり、「多少暗いものの、作業を行うには問題ない」と答えた農場が 125 件（29.2%）であった。一方、「暗いがそのままにしている」と答えた農場が、わずかではあるが 7 件（1.6%）であった。

4. 飼養施設について

問 12. 経産豚の飼養管理にストールを使用していますか

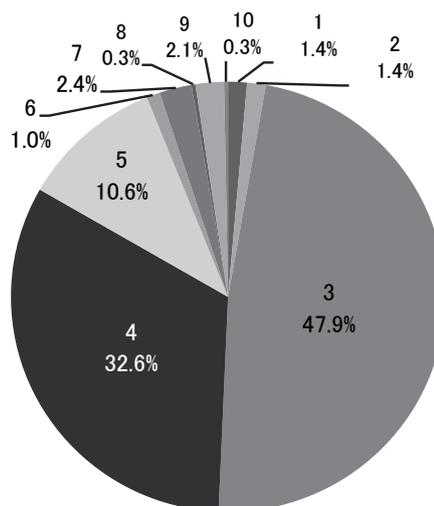
	件数	割合
A 使用している	379	88.6%
B 使用していない	24	5.6%
C 無回答	25	5.8%
合計	428	100.0%



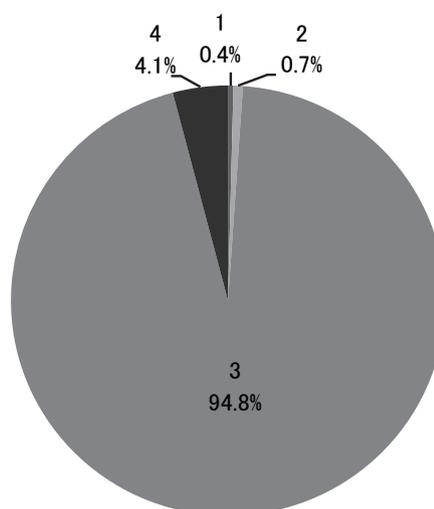
経産豚の飼養管理については、「ストールを使用している」と答えた農場が 379 件 (88.6%) であった。

なお、使用しているストールの幅で最も多かったのは 60cm で 140 件 (47.9%)、長さは 200cm が 254 件 (94.8%) であった (下表参照)。

ストールの幅	回答数	割合
1 50 cm	4	1.4%
2 55 cm	4	1.4%
3 60 cm	140	47.9%
4 65 cm	95	32.6%
5 70 cm	31	10.6%
6 75 cm	3	1.0%
7 80 cm	7	2.4%
8 85 cm	1	0.3%
9 90 cm	6	2.1%
10 150 cm	1	0.3%
合計	292	100.0%

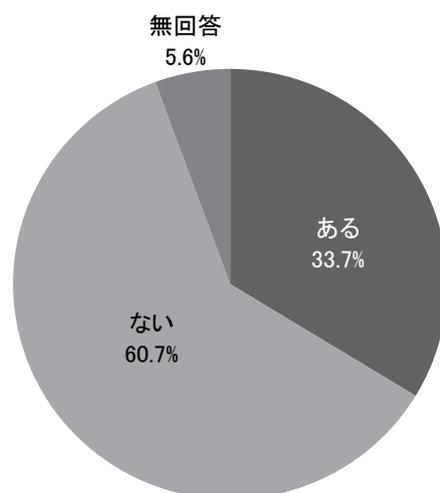


ストールの長さ	回答数	割合
1 100 cm	1	0.4%
2 150 cm	2	0.7%
3 200 cm	254	94.8%
4 250 cm	11	4.1%
合計	268	100.0%



問 13. 経産豚を群飼で飼育する時期はありますか

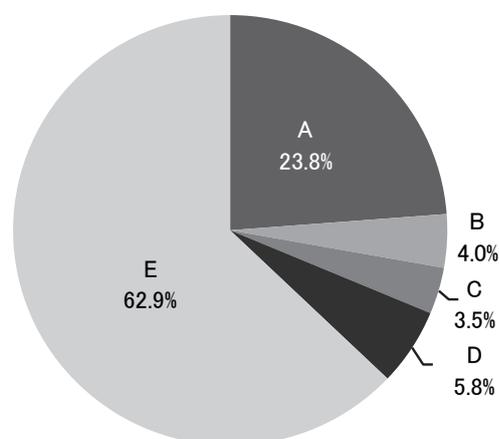
	件数	割合
A ある	144	33.7%
B ない	260	60.7%
C 無回答	24	5.6%
合計	428	100.0%



経産豚の群飼での飼育については、「群飼で飼育する時期がない」と答えた農場が 260 件 (60.7%) で 6 割強を占めた。「群飼で飼育する時期がある」と答えた農場は 144 件 (33.7%) であった。

問 14. 経産豚を群飼で飼育する時期がある場合、その時期はいつですか

	件数	割合
A 離乳後から種付けまでの期間を群飼している	102	23.8%
B 離乳後から妊娠確認後までの期間を群飼している	17	4.0%
C 離乳後から分娩豚舎に収容するまでの期間を群飼している	15	3.5%
D その他	25	5.8%
E 無回答	269	62.9%
合計	428	100.0%



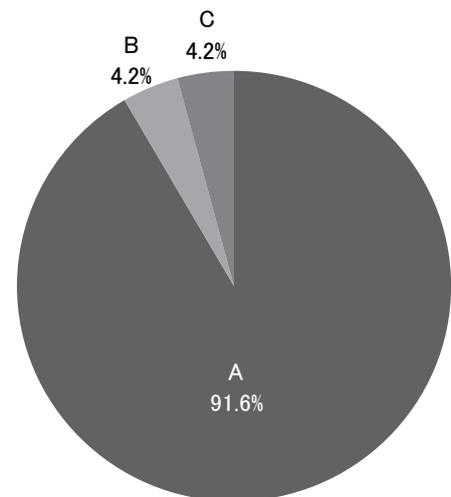
経産豚を群飼で飼育する時期については、「離乳後から種付けまで」と答えた農場が 102 件 (23.8%)、「離乳後から妊娠確認後まで」と答えた農場が 17 件 (4.0%)、「離乳後から分娩豚舎に収容するまでの期間」が 15 件 (3.5%) であった。「無回答」269 件のうち、260 件が問 13 で「群飼をする時期がない」と回答した農場に該当する。

また、問 13 で「経産豚を群飼で飼育する時期がある」と答えた農場が 144 件であったことから、経産豚を群飼する農場のうち、「離乳後から種付けもしくは妊娠確認後まで」群飼する農場の割合は 70.8% であった。

なお、「その他」については、「離乳後、発情が来ない豚を群飼」、「発情の希薄な豚を群飼」、「再発 (不受胎) 豚を、次回交配時まで群飼」、「怪我やその治療を行う場合」等があった。

問 15. 経産豚はボディコンディションに注意して管理を行っていますか

	件数	割合
A 注意している	392	91.6%
B 注意していない	18	4.2%
C 無回答	18	4.2%
合計	428	100.0%

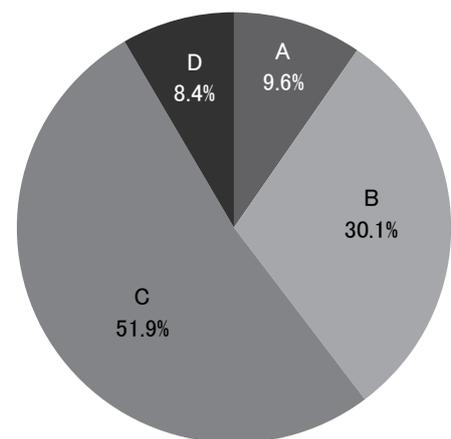


経産豚のボディコンディションについては、「注意している」と答えた農場が 392 件 (91.6%) であり、「注意していない」又は「無回答」が 36 件 (8.4%) と 1 割弱であった。

問 16. 肥育豚（肉豚）の 1 頭当たりの飼養面積は、次のどれにあてはまりますか

(1) 離乳～30kg

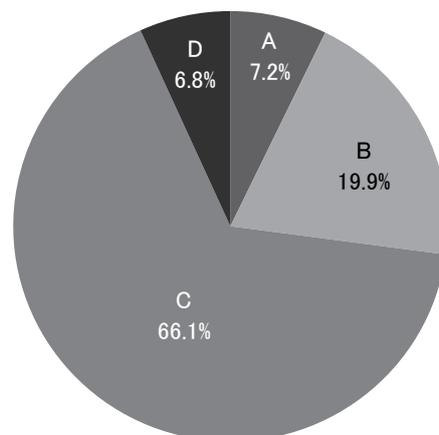
	件数	割合
A 0.25m ² 未満	41	9.6%
B 0.25m ² 以上 0.3 m ² 未満	129	30.1%
C 0.3m ² 以上	222	51.9%
D 無回答	36	8.4%
合計	428	100.0%



離乳～30kg までの肥育豚（肉豚）1 頭当たりの飼養面積は、「0.3m²以上」と答えた農場が 222 件 (51.9%) と最も多く、次いで「0.25m²以上 0.3m²未満」が 129 件 (30.1%) であった。

(2) 31kg～70kg

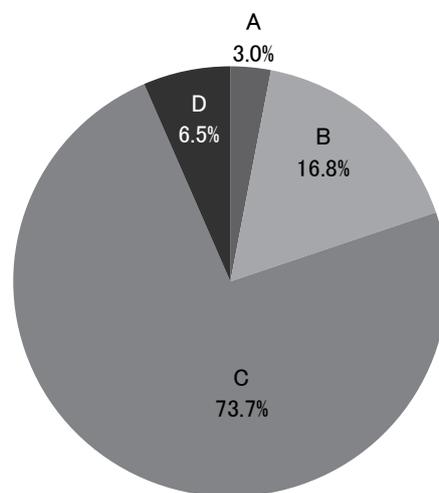
	件数	割合
A 0.5m ² 未満	31	7.2%
B 0.5m ² 以上 0.55 m ² 未満	85	19.9%
C 0.55m ² 以上	283	66.1%
D 無回答	29	6.8%
合計	428	100.0%



31kg～70kg の肥育豚（肉豚）1 頭当たりの飼養面積は、「0.55m²以上」と答えた農場が 283 件（66.1%）と最も多く、次いで「0.5m²以上 0.55m²未満」が 85 件（19.9%）であった。

(3) 71kg 以上

	件数	割合
A 0.55m ² 未満	13	3.0%
B 0.55m ² 以上 0.65 m ² 未満	72	16.8%
C 0.65m ² 以上	315	73.7%
D 無回答	28	6.5%
合計	428	100.0%

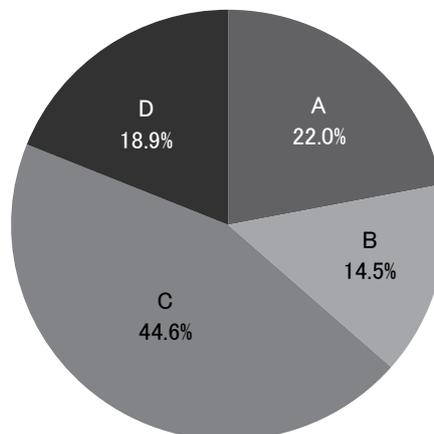


71kg 以上の肥育豚（肉豚）1 頭当たりの飼養面積は、「0.65m²以上」と答えた農場が 315 件（73.7%）と最も多く、次いで「0.55m²以上 0.65m²未満」が 72 件（16.8%）であった。

問 17. 床材としてスノコを利用している場合、1 豚房当たりのスノコ部分が占める割合は、次のどれに当てはまりますか

(1) 離乳～30kg 以上

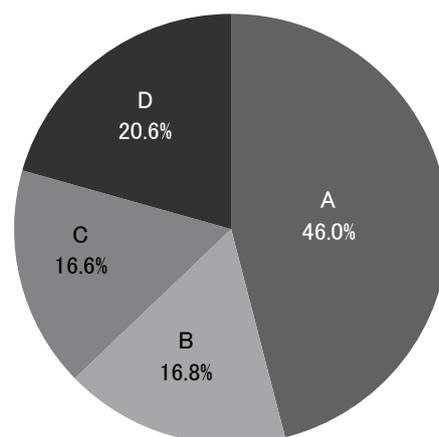
	件数	割合
A 50%未満	94	22.0%
B 50%以上 100%未満	62	14.5%
C 100% (全面スノコ)	191	44.6%
D 無回答	81	18.9%
合計	428	100.0%



離乳～30kg 以上の 1 豚房当たりのスノコ部分が占める割合は、「100% (全面スノコ)」と答えた農場が 191 件 (44.6%) と最も多く、次いで「50%未満」が 94 件 (22.0%)、「50%以上 100%未満」が 62 件 (14.5%) であった。

(2) 31kg～70kg 以上

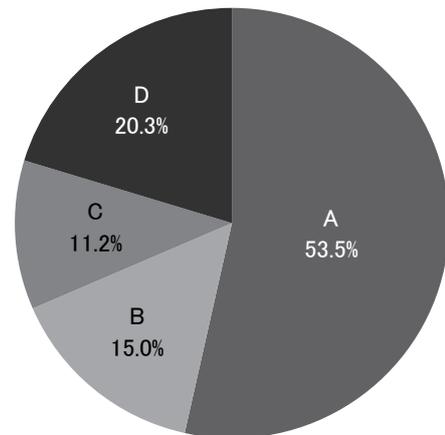
	件数	割合
A 50%未満	197	46.0%
B 50%以上 100%未満	72	16.8%
C 100% (全面スノコ)	71	16.6%
D 無回答	88	20.6%
合計	428	100.0%



31kg～70kg 以上の 1 豚房当たりのスノコ部分が占める割合は、「50%未満」と答えた農場が 197 件 (46.0%) と最も多く、次いで「50%以上 100%未満」が 72 件 (16.8%)、「100% (全面スノコ)」が 71 件 (16.6%) とほぼ同等の割合であった。

(3) 71kg 以上

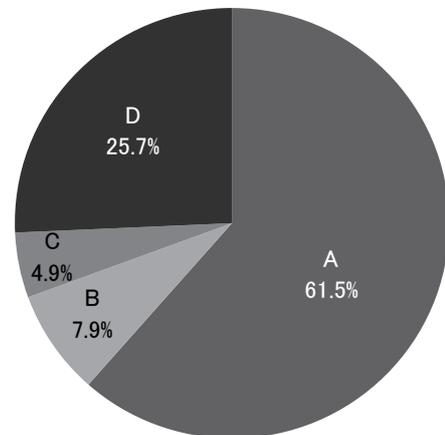
	件数	割合
A 50%未満	229	53.5%
B 50%以上100%未満	64	15.0%
C 100% (全面スノコ)	48	11.2%
D 無回答	87	20.3%
合計	428	100.0%



71kg 以上の 1 豚房当たりのスノコ部分が占める割合は、「50%未満」と答えた農場が 229 件 (53.5%) と半数以上であった。

(4) 経産豚

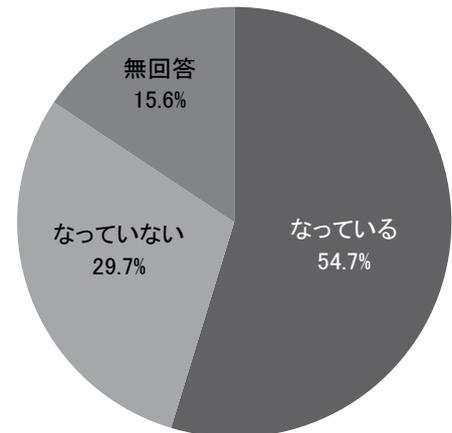
	件数	割合
A 50%未満	263	61.5%
B 50%以上100%未満	34	7.9%
C 100% (全面スノコ)	21	4.9%
D 無回答	110	25.7%
合計	428	100.0%



経産豚の 1 豚房当たりのスノコ部分が占める割合は、「50%未満」と答えた農場が 263 件 (61.5%) と 6 割強であった。

問 18. スノコの溝の幅（スリット幅）は、足の怪我等が起り難い幅や形状になっていますか

	件数	割合
A なっている	234	54.7%
B なっていない	127	29.7%
C 無回答	67	15.6%
合計	428	100.0%

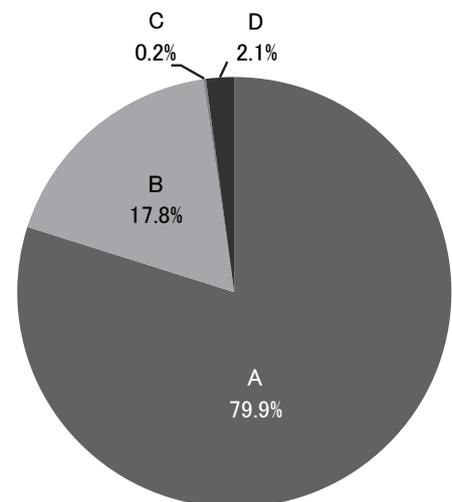


スノコの溝の幅（スリット幅）については、「足の怪我等が起り難い幅や形状になっている」と答えた農場が 234 件（54.7%）と半数以上を占めた。

5. 疾病・外傷等への対応

問 19. 豚の怪我や疾病が発生した場合、迅速な治療等を行っていますか

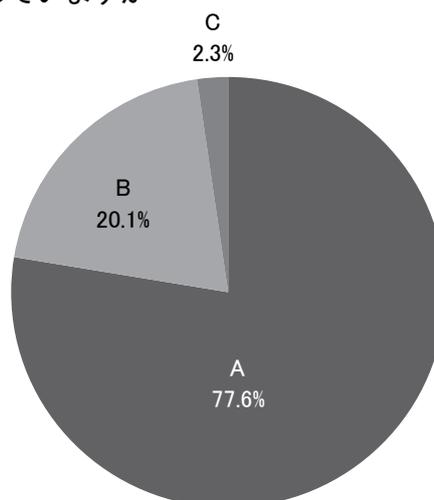
	件数	割合
A 行っている	342	79.9%
B 多少の外傷や症状が軽ければ経過を見て、悪化したら治療している	76	17.8%
C 行っていない	1	0.2%
D 無回答	9	2.1%
合計	428	100.0%



怪我や疾病が発生した場合については、「迅速な治療等を行っている」と答えた農場が 342 件（79.9%）であった。「多少の外傷や症状が軽ければ経過を見て、悪化したら治療している」を含めると、418 件（97.7%）とほとんどの農家で治療を行っている。

問 20. 外傷や疾病の豚が出た場合に他の豚と分けて管理していますか

	件数	割合
A 重症の場合、単房などに入れて分けて管理している	332	77.6%
B 分けていない	86	20.1%
C 無回答	10	2.3%
合計	428	100.0%



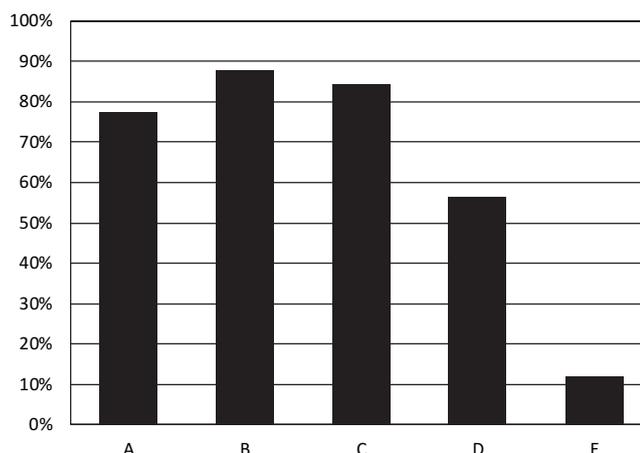
怪我や病気の豚が出た場合の管理については、「単房等で他の豚と分けて管理している」と答えた農場が 332 件 (77.6%) であった。「分けていない」と答えた農場は 86 件 (20.1%) であった。

問 21. 農場内に病原体等を侵入させないための防疫対策をとっていますか (複数回等可)

	件数	割合	順位
A 車両消毒などの防疫施設を設置している	330	77.1%	3
B 踏込消毒槽を豚舎の出入口に置くなどの防疫対策を心掛けている	375	87.6%	1
C 消石灰の散布を行っている	360	84.1%	2
D 豚舎内に野生動物が侵入しないようにネット等を張っている	241	56.3%	4
E その他	51	11.9%	5
F 行っていない	1	0.2%	6

※農場回答数 428 を母数とした。

農場内の防疫対策については、「踏込消毒槽を豚舎の出入口に置くなどの防疫対策を心掛けている」と答えた農場が 375 件 (87.6%) と最も多く、次いで「消石灰の散布」が 360 件 (84.1%)、「車両消毒などの防疫施設を設置している」が 330 件 (77.1%)、「豚舎内に野生動物が侵入しないようにネット等を張っている」が 241 件 (56.3%) と高い割合で実施されていた。

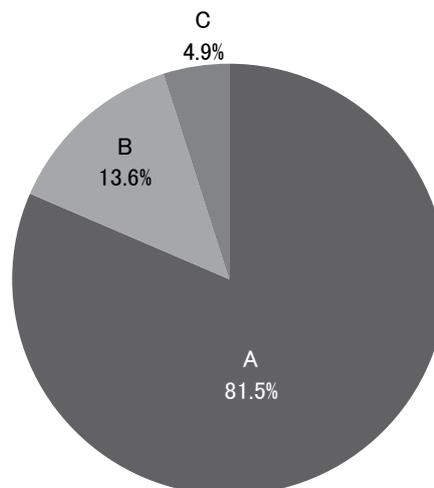


なお、「その他」については、「搬入器材等の燻蒸」、「消毒液を染み込ませたマットを使用」、「畜舎内の消毒」、「外部の人を農場に入れない」、「入場時の記帳」、「シャワーを浴びてから農場に入る」、「専用の長靴・作業着等を着用」等があった。

6. 外科的処置について

問 22. 農場内で子豚の断尾を行っていますか

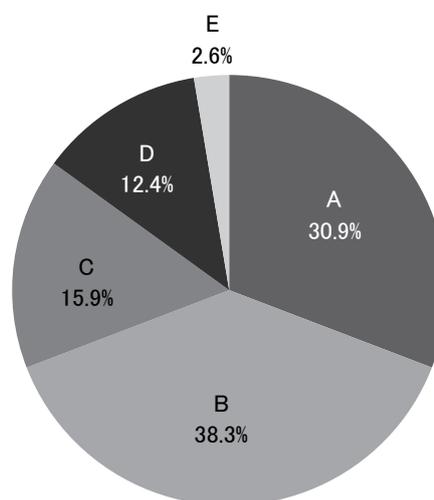
	件数	割合
A 行っている	349	81.5%
B 行っていない	58	13.6%
C 無回答	21	4.9%
合計	428	100.0%



断尾については、「行っている」と答えた農場が 349 件と 8 割強を占めた。

問 23. 断尾を行う時期は、主にいつ頃ですか

	件数	割合
A 生後 1 日以内	107	30.7%
B 生後 1 日～2 日以内	133	38.1%
C 生後 2 日～3 日以内	55	15.8%
D 生後 3 日～7 日以内	43	12.3%
E 生後 8 日以上	9	2.6%
F 無回答	2	0.5%
合計	349	100.0%

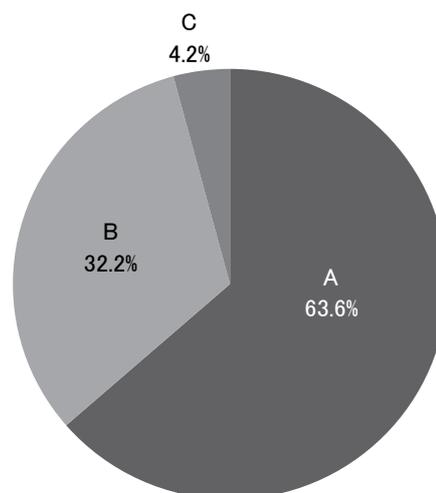


断尾を行う時期については、「生後 1 日～2 日以内」と答えた農場が 133 件 (38.1%) と最も多く、次いで「生後 1 日以内」が 107 件 (30.7%) であった。「生後 7 日以内」での実施が 96.9% であった。

なお、この問については、問 22 で断尾を行っている と回答した農場数の 349 件を母数とした。

問 24. 農場内で新生子豚の歯切りを行っていますか

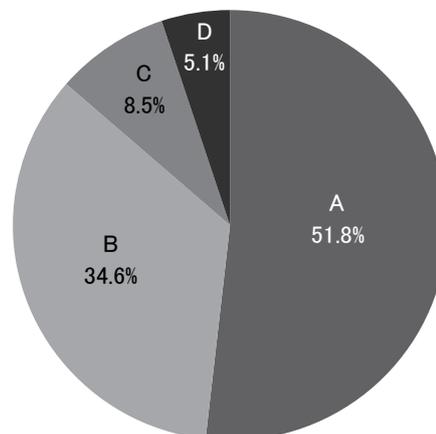
	件数	割合
A 行っている	272	63.6%
B 行っていない	138	32.2%
C 無回答	18	4.2%
合計	428	100.0%



歯切りについては、「行っている」と答えた農場が 272 件（63.6%）であった。「行わない」と答えた農場は 138 件（32.2%）であった。

問 25. 歯切りを行う時期は主にいつ頃ですか

	件数	割合
A 生後 1 日以内	141	51.8%
B 生後 1 日～2 日以内	94	34.6%
C 生後 2 日～3 日以内	23	8.5%
D 生後 3 日～7 日以内	14	5.1%
E 生後 8 日以上	0	0.0%
合計	272	100.0%

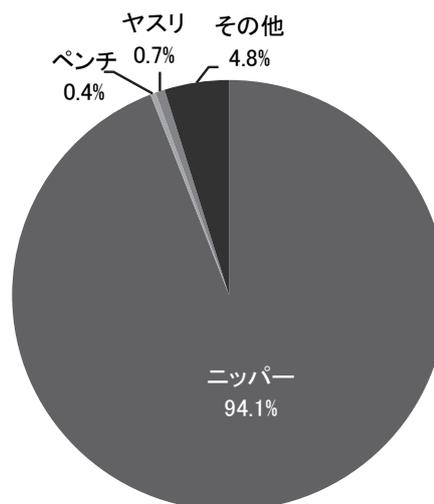


歯切りを行う時期については、「生後 1 日以内」と答えた農場が 141 件（51.8%）と最も多く、「生後 7 日以内」ですべての農場が歯切りを終えるという結果であった。

なお、この間については、回答があった 272 件を母数とした。

問 26. 歯切りの器具は何ですか

	件数	割合
A ニッパー	256	94.1%
B ペンチ	1	0.4%
C ヤスリ	2	0.7%
D その他	13	4.8%
合計	272	100.0%



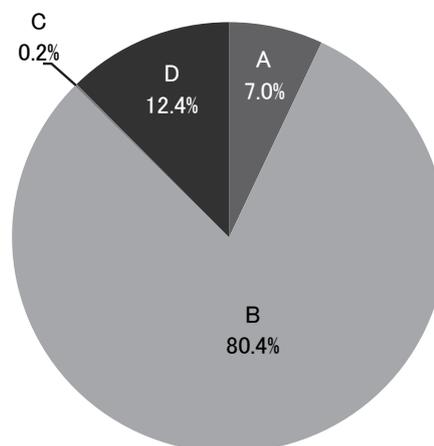
歯切りに使用する器具については、「ニッパー」と答えた農場が 256 件（94.1%）と 9 割以上を占めていた。

なお、「その他」については、「歯切り専用グラインダー」、「歯切り用ニッパー」、「電動ヤスリ」、「ハサミ」等があった。

問 27. 種雄豚を飼育されている方にお伺いします。

年齢 1 歳以上の雄の「牙」を切っていますか

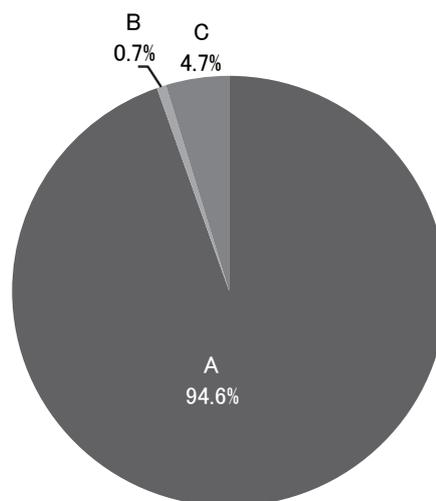
	件数	割合
A 切っている	30	7.0%
B 切っていない	344	80.4%
C その他	1	0.2%
D 無回答	53	12.4%
合計	428	100.0%



年齢 1 歳以上の雄の牙については、「切っていない」と答えた農場が 344 件（80.4%）と 8 割強であった。

問 28. 農場内で子豚の去勢を行っていますか

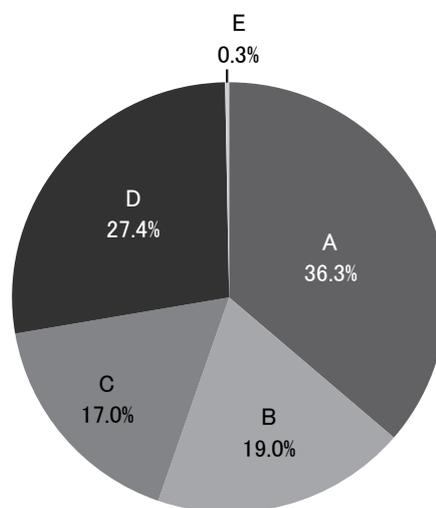
	件数	割合
A 行っている	405	94.6%
B 行っていない	3	0.7%
C 無回答	20	4.7%
合計	428	100.0%



子豚の去勢については、「行っている」と答えた農場が 405 件（94.6%）と大多数を占めた。

問 29. 去勢を行う時期は、主にいつ頃ですか

	件数	割合
A 生後 3 日以内	147	36.3%
B 生後 4 日～5 日以内	77	19.0%
C 生後 6 日～7 日以内	69	17.0%
D 生後 8 日以上	111	27.4%
E 無回答	1	0.3%
合計	405	100.0%

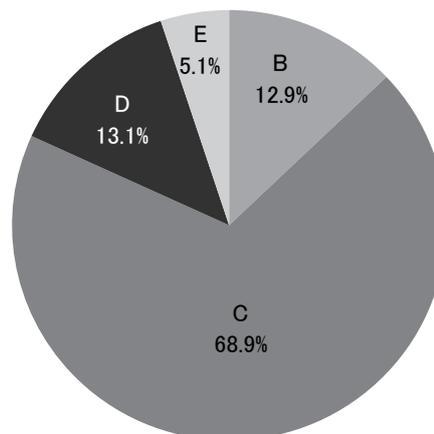


去勢を行う時期については、「生後 3 日以内」と答えた農場が 147 件（36.3%）と最も多く、次いで「生後 8 日以上」が 111 件（27.4%）であった。「生後 7 日以内」での実施は 72.3%であった。

なお、この間については、問 29 で去勢を行っているとは回答した農場数の 405 件を母数とした。

問 30. 子豚の平均離乳日齢はどのくらいですか

	件数	割合
A 生後 14 日未満	0	0.0%
B 14 日齢以上 21 日齢未満	55	12.9%
C 21 日齢以上 28 日齢未満	295	68.9%
D 28 日齢以上	56	13.1%
E 無回答	22	5.1%
合計	428	100.0%

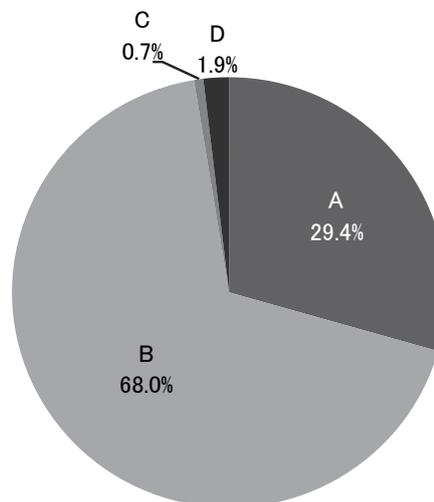


子豚の平均離乳時期については、「21 日齢以上 28 日齢未満」と答えた農場が 295 件（68.9%）と最も多く、次いで「28 日齢以上」が 56 件（13.1%）、「14 日齢以上 21 日齢未満」が 55 件（12.9%）とほぼ同等の割合であった。

7. その他

問 31. 管理者が豚に近づいたときの豚はどのような反応をしますか

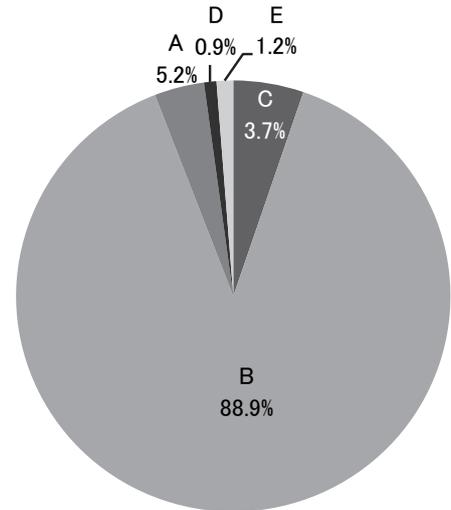
	件数	割合
A そばに寄って触っても逃げない	126	29.4%
B 近づこうとすると 1 回逃げるが、その後すぐに寄ってくる	291	68.0%
C 近づこうとすると、遠くからでも逃げる	3	0.7%
E 無回答	8	1.9%
合計	428	100.0%



管理者が豚に近づいたときの豚の反応については、「近づこうとすると 1 回逃げるが、その後すぐに寄ってくる」と答えた農場が 291 件（68.0%）と最も多く、次いで「触っても逃げない」が 126 件（29.4%）であった。「近づこうとすると遠くからでも逃げる」はわずか 3 件（0.7%）であった。

問 32. 豚を移動させる際に何か道具を使っていますか

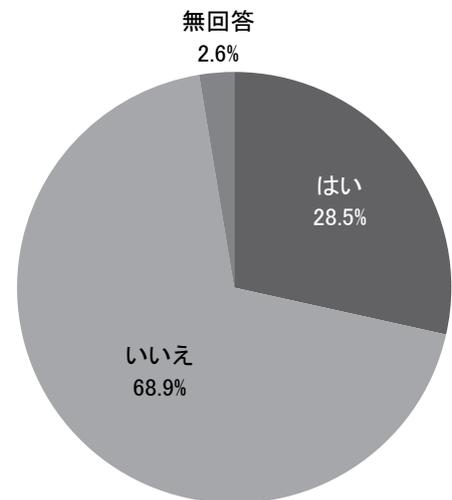
	件数	割合
A 使っていない	22	5.1%
B 板（コンパネなど）を使って誘導している	370	86.4%
C 棒などで叩いて誘導している	15	3.6%
D 電気ムチ等で誘導している	4	0.9%
E その他	5	1.2%
F 無回答	12	2.8%
合計	428	100.0%



豚の移動の際に使用する道具については、「板（コンパネなど）を使って誘導している」と答えた農場が 370 件（86.4%）と 8 割以上を占めた。

問 33. 豚舎内にチェーンやボール等の遊具を設置していますか

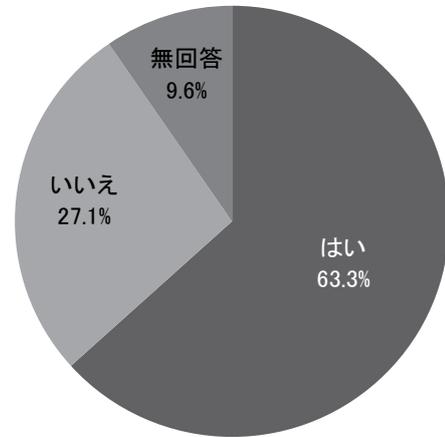
	件数	割合
A はい	122	28.5%
B いいえ	295	68.9%
C 無回答	11	2.6%
合計	428	100.0%



豚舎内への遊具の設置については、「設置していない」と答えた農場が 295 件（68.9%）と約 7 割を占めた。

問 34. 将来的に農場での飼養管理を考える際に、アニマルウェルフェアを検討する必要がある
と思いますか

	件数	割合
A はい	271	63.3%
B いいえ	116	27.1%
C 無回答	41	9.6%
合計	428	100.0%



将来的なアニマルウェルフェアの検討については、「必要がある」と答えた農場が 271 件 (63.3%) で 6 割以上が検討の必要を感じているとの結果であった。「必要ない」は 116 件 (27.1%) であった。

豚の飼養実態アンケート調査

■ 基本事項

1. あなたの農場の所在地（都道府県名）を下線部にご記入ください

⇒ _____

2. 子取り用雌豚の飼養頭数は、現在何頭ですか（下線部にご記入下さい）

⇒ _____頭

3. 平成21年3月に作成された「アニマルウェルフェアの考え方に対応した豚の飼養管理指針」をご存知ですか（○は1つ）

- ① () はい
② () いいえ

■ 飼養管理について、お伺いします

I 観察・記録について

- 問1. 1日1回以上、豚の健康状態を観察していますか（○は1つ）

- ① () はい
② () いいえ

- 問2. 飼養管理（健康状態、病気や事故の発生の有無、治療やワクチン接種の履歴、死亡頭数等）に関する記録を毎日つけていますか（○は1つ）

- ① () はい
② () いいえ

II 給餌・給水について

- 問3. 豚の発育段階等に応じた飼料を給与していますか（○は1つ）

- ① () はい
② () いいえ

- 問4. 毎日、新鮮な飼料と水を十分に給与していますか（○は1つ）

- ① () はい
② () いいえ

- 問5. 毎日、新鮮な飼料や水を給与するため、給餌・給水ラインや給餌器・給水器等の点検・確認を行っていますか（○は1つ）

- ① () はい
② () いいえ

問 14. 経産豚を群飼で飼育する時期がある場合、その時期はいつですか（○は1つ）

- ① () 離乳後から種付けまでの期間を群飼している
- ② () 離乳後から妊娠確認後までの期間を群飼している
- ③ () 離乳後から分娩豚舎に収容するまでの期間を群飼している
- ④ () その他（具体的に： _____)

問 15. 経産豚はボディコンディションに注意して管理を行っていますか（○は1つ）

- ① () 注意している
- ② () 注意していない

問 16. 肥育豚（肉豚）の1頭当たりの飼養面積は、次のどれに当てはまりますか
（区分ごとに○は1つ）

- (1) 離乳 ~ 30kg ① () 0.25 m²未満
 ② () 0.25 m²以上 0.3 m²未満
 ③ () 0.3 m²以上
- (2) 31kg ~ 70kg ① () 0.5 m²未満
 ② () 0.5 m²以上 0.55 m²未満
 ③ () 0.55 m²以上
- (3) 71kg 以上 ① () 0.55 m²未満
 ② () 0.55 m²以上 0.65 m²未満
 ③ () 0.65 m²以上

問 17. 床材としてスノコを利用している場合、1豚房当りのスノコ部分が占める割合は、
次のどれに当てはまりますか（区分ごとに○は1つ）

- (1) 離乳 ~ 30kg ① () 50%未満
 ② () 50%以上 100%未満
 ③ () 100%（全面スノコ）
- (2) 31kg ~ 70kg ① () 50%未満
 ② () 50%以上 100%未満
 ③ () 100%（全面スノコ）
- (3) 71kg 以上 ① () 50%未満
 ② () 50%以上 100%未満
 ③ () 100%（全面スノコ）
- (4) 経産豚 ① () 50%未満
 ② () 50%以上 100%未満
 ③ () 100%（全面スノコ）

問 18. スノコの溝の幅（スリット幅）は、足の怪我等が起り難い幅や形状になっていますか（○は1つ）

- ① () なっている
- ② () なっていない

V. 疾病・外傷等への対応

問 19. 豚の怪我や疾病が発生した場合、迅速な治療等を行っていますか（○は1つ）

- ① () 行っている
- ② () 多少の外傷や症状が軽ければ経過を見て、悪化したら治療している
- ③ () 行っていない

問 20. 外傷や疾病の豚が出た場合に他の豚と分けて管理していますか（○は1つ）

- ① () 重症の場合、単房などに入れて分けて管理している
- ② () 分けていない

問 21. 農場内に病原体等を侵入させないための防疫対策をとっていますか（複数回答可）

- ① () 車両消毒などの防疫施設を設置している
- ② () 踏込消毒槽を豚舎の出入口に置くなどの防疫対策に心がけている
- ③ () 消石灰の散布を行っている
- ④ () 豚舎内に野生動物が侵入しないようにネット等を張っている
- ⑤ () その他（具体的に： _____）
- ⑥ () 行っていない

VI. 外科的処置等について

問 22. 農場内で子豚の断尾を行っていますか（○は1つ）

- ① () 行っている
- ② () 行っていない ⇒ 問 24 へ

問 23. 断尾を行う時期は、主にいつ頃ですか（○は1つ）

- ① () 生後1日以内
- ② () 生後1日～2日以内
- ③ () 生後2日～3日以内
- ④ () 生後3日～7日以内
- ⑤ () 生後8日以上

問 24. 農場内で、新生子豚の歯切りを行っていますか（○は1つ）

- ① () 行っている
- ② () 行っていない ⇒ 問 27 へ

問 25. 歯切りを行う時期は、主にいつ頃ですか（○は1つ）

- ① () 生後1日以内
- ② () 生後1日～2日以内
- ③ () 生後2日～3日以内
- ④ () 生後3日～7日以内
- ⑤ () 生後8日以上

問 26. 歯切りの器具は何ですか。（○は1つ）

- ① () ニッパー
- ② () ペンチ
- ③ () ヤスリ
- ④ () その他（具体的に： _____）

問 27. 種雄豚を飼育されている方にお伺いします。年齢1歳以上の雄の「牙」を切っていますか（○は1つ）

- ① () 切っている
- ② () 切っていない

問 28. 農場内で、子豚の去勢を行っていますか（○は1つ）

- ① () 行っている
- ② () 行っていない ⇒ 問 30 へ

問 29. 去勢を行う時期は、主にいつ頃ですか（○は1つ）

- ① () 生後3日以内
- ② () 生後4日～5日以内
- ③ () 生後6日～7日以内
- ④ () 生後8日以上

問 30. 子豚の平均離乳日齢は、どのくらいですか（○は1つ）

- ① () 生後14日未満
- ② () 14日齢以上21日齢未満
- ③ () 21日齢以上28日齢未満
- ④ () 28日齢以上

Ⅶ. その他

問 31. 管理者が豚に近づいたときの豚はどのような反応をしますか（○は1つ）

- ① () そばに寄って触っても逃げない
- ② () 近づこうとすると1回逃げるが、その後すぐに寄ってくる
- ③ () 近づこうとすると、遠くからでも逃げる

問 32. 豚を移動させる際に何か道具を使っていますか（○は1つ）

- ① () 使っていない
- ② () 板（コンパネなど）を使って誘導している
- ③ () 棒などで叩いて誘導している
- ④ () 電気ムチ等で誘導している
- ⑤ () その他（具体的に：_____）

問 33. 豚舎内にチェーンやボール等の遊具を設置していますか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

問 34. 将来的に農場での飼養管理を考える際に、アニマルウェルフェアを検討する必要があると思いますか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

ご協力ありがとうございます。